



水産情報速報版

H23. 7. 1. No1288
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
URL:<http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

東日本大震災により、被害を受けられました皆様に心からお見舞い申し上げます。1日も早く復興されますように、お祈りしております。

1. 漁場監視パトロール（密漁取締訓練）が行われる —浜名湖村櫛漁港—

6月4日村櫛漁港において、浜名漁協とアサリ採貝組合連合会の主催により、地元警察など取締機関や県・浜松市など行政の協力を得て、アサリ密漁パトロールが総勢約80名で実施されました。

当日、講師として迎えた田中克哲氏（全漁連密漁防止等推進委員）から、パトロールにあたっての注意事項が説明された後、浜名湖を巡回して潮干狩りをする人々に浜名湖のルールについて説明しながらパトロールを行い、終了後には、田中氏や警察署員から事後の反省を含め指導を頂き、パトロール技術の向上に努めました。

浜名湖では、アサリは共同漁業権魚種に指定されており、一定のルールのもと、潮干狩り客のアサリの採捕を受忍していますが、漁協によればテレビで報道されるようになって、空気ポンペを背負って足ひれでアサリを掘り起こす密漁者は減りましたが、プレジャーボートに乗ってやってくる密漁者は、まだまだ多いとのことでした。

今回のパトロール活動が、悪質な密漁の抑止となるとともに資源管理の実効につながることを大いに期待されます。

2. 全国海難防止強調運動実施 7月16日から31日まで

平成23年度全国海難防止強調運動が(社)日本海難防止協会、(財)海上保安協会、海上保安庁の主催により、海の月間時期に合わせて「海難ゼロへの願い」をスローガンに7月16日から31日まで実施され、本年度から3ヶ年の重点事項を「見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進」と「小型船の安全対策の徹底」として官民の関係者が一体となって推進されます。

漁船にあっては、海難による死者・行方不明者数が最も多く、全体の約6割を占めており、見張り不十分による原因も多く、操業中や漁獲物の選別等の作業中に発生しているものも多いため、航行中のみならず操業中・作業中においても見張りを行うことが課題とされています。

3. 平成23年度 第1回天草共販入札会開催

本会では、6月15日天草共販事業の第1回入札会を、伊豆漁協（本所）において開催しました。第1回入札会では、伊豆漁協仁科支所や同下田支所（須崎・外浦地区）の天草が中心に集荷され、数量は昨年初回を下回る上場となりました。

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

入札会は9人の買い付け業者が参加した結果、総取扱金額及び平均価格は次のとおりとなりました。

▽入札数量：11,100kg（444本/25kg）▽取扱金額：11,353,350円 ▽平均単価：10,228円（10kgあたり）▽最高価格：白田（まくさ粗改良）21,010円（10kgあたり）。

昨年同期の取扱数量・金額を見てみると、20,250kg、17,551,950円、平均単価は8,668円/10kgで、比較すると数量では54.8%、金額では64.7%と下回り、平均価格では118%と上回りました。

<参考>次回第2回入札会の開催は、7月20日（水）です。

4. 夏期電力需給対策の取り組み 節電のお願い

夏場に向けて、東京・東北電力管内では再び電力需給の悪化が懸念され、政府では計画停電を回避するため、管内全域における需要抑制率を大口需要家（契約電力500kw以上の者）・小口需要家（500kw未満の者）・家庭ともに均一に▲15%とすることを決定しました。

JFグループとしても政府の決定に基づく水産庁の要請を踏まえ、この電力需給対策に取り組むこととなっており、漁協等も自身の組織の節電計画を策定し、内容の周知や公表することとなっています。具体的には、操業・営業時間の調整、シフト、休業日・夏季休業の分散化、照明・空調等の節電等の計画を策定し、本年7～9月に平日の9時から20時の使用最大電力（瞬間の電力であって、電力使用量の総計ではありません）を昨年同期・時間帯の使用最大電力に対し15%削減することが求められています。

さらに、中部電力管内においても、浜岡原子力発電所の運転停止に関し経済活動に影響を与えない範囲で一般的な節電の呼びかけが行われています。

みなさま一人ひとりの節電アクションが確実に大きな動きとなり、電力消費をおさえることができますので、ご理解とご協力をお願いします。

家庭での節電対策についての方法は、経済産業省のホームページで紹介されています。（<http://www.meti.go.jp/setsuden/20110513taisaku/03.pdf>）

5. 桜えび春漁 水揚げ量は721トンと昨年より13%増

今年の桜えび春漁は、4月6日夜に始まり6月5日夜で終漁し、この間の出漁日数は13日（昨年15日）で、漁獲量は721トンと昨年の春漁（640トン）を上回りました。しかし、平均単価は3,085円/kgと昨年春漁（4,583円/kg）より安値で推移したため、水揚げ金額は約22億2千5百万円となり昨年春漁（約29億4千万円）を大幅に下回る結果となりました。

6. ライフガードレディース3名が委嘱を受ける —地頭方漁協女性部—

6月9日地頭方漁協において、救命胴衣着用推進員「LGL（ライフガードレディース）委嘱式」が関係者立会いのもと執り行われ、当日は、地頭方漁協の女性部員3名に御前崎海上保安署の横田署長から委嘱状が手渡されました。

なお、本県のLGL（ライフガードレディース）委嘱者は、今回の委嘱者を合わせると196人となりました。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう